

新型コロナウイルス抗体検査について

(Coronavirus disease 2019 Antibody test)

【 検査結果の判定 】

陽性 (+)	陰性 (-)
<p>新型コロナウイルスに対する抗体を持っており、 過去に感染した可能性が高いと考えられます。</p> <p>ただし、抗体の持続期間や感染防御効果がどの程度あるかなどは明らかになっていないので、引き続き感染予防に努めてください。</p>	<p>新型コロナウイルスに対する抗体を持っていないので、 過去に感染している可能性は低いと考えられます。</p> <p>引き続き感染予防対策をしっかりと行ってください。</p>

【 注意事項 】


- 健診と同様に、発熱・咳・痰・息苦しさ・強いだるさなどの風邪症状や呼吸器症状や、味覚・嗅覚異常があるなど、新型コロナウイルスに感染している可能性のある方はご受診いただけません。
- ヘルチェックでは新型コロナウイルス抗体検査についての陰性証明書等の発行は行っておりません。
(抗体検査の結果の解釈や有用性については確立されていないため)
- 抗体検査を新型コロナウイルス感染症の確定診断に用いることはできません。
- 抗体検査の結果如何にかかわらず、PCR 検査の紹介などは行っておりません。

【 新型コロナウイルス抗体検査とは 】

新型コロナウイルス抗体検査とは、新型コロナウイルスに対する抗体を持っているか（過去に感染したことがあるか）を調べる検査です。

尚、新型コロナウイルスは新しいウイルスであり、現時点では検査結果の解釈や有用性は確立されていません。

【 検査方法 】

 ロシュ・ダイアグノスティックス社「Elecsys Anti-SARS-CoV-2」という試薬を用い、特殊なタンパク質に対する抗体（IgMとIgGの混合）を検出し、新型コロナウイルスの抗体を獲得しているかどうかを調べる検査です。健康診断の際に採取した血液を用いますので、新たに検体を採取する必要はありません。

この検査方法は、厚労省が行った大規模調査（東京都、大阪府、宮城県で合計1万人規模）でも採用されたものです。

尚、数分程度で結果が判明する簡易キット等もありその場で結果が判明するというメリットがありますが、ヘルチェックでは検査精度を優先し外部の検査センターに分析を依頼するこの検査方法を選定しました。

【 検査精度 】

- 感度 : 100% (PCR 検査で陽性確認後 14 日以降の症例)
- 特異度 : 99.81%

- ロシュ・ダイアグノスティックス社 ホームページより -

感度・特異度とは？

- 感度とは、コロナ感染者のうち検査で陽性と判定する割合
- 特異度とは、コロナに感染していない人のうち検査で陰性と判定する割合

【 検査結果 】

健診結果報告書で検査結果をお知らせします。(おおむね 1 週間以内)

【 新型コロナウイルス検査の種類 】

新型コロナウイルスには 3 つの検査方法があり、目的やそれぞれの特徴を踏まえ選択します。

ヘルチェックでは、検査対象者が健康診断受診者であることから、「抗体検査」を行っています。

	抗体検査	PCR 検査	抗原検査
目的	過去の感染歴	現在の感染	
検体	血液	鼻腔ぬぐい液 (唾液)	
検体採取リスク	通常	有り	
検査時間	方法による	4~6 時間	30 分程度
検査可能数	多数可能	限定的	

「抗体検査」は過去にウイルスに感染したことがあるかを知るために行います。(少量の血液で検査が出来ます)
 一方、「PCR 検査」「抗原検査」は、検査時点で体内にウイルスが存在しているかどうかを調べる検査で、主に感染が疑われる場合に実施します。(鼻咽頭ぬぐい液等の採取が必要です)

この 2 つの検査は「現在の感染」を調べることを目的としていますので、ご心配な方は保健所などにご相談されることをおすすめします。